

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	法人の理念を事業所の理念とし、職員に入職時には理念に込められた思いを伝え、理念に沿った支援になるように取り組んでいるが、事業所としての理念がなく、独自の理念を作成中である。	利用者が自由に暮らせるように、職員もやりたいことに自由に組みあわせるようにとの思いを組み込んだ事業所独自の理念を作成し、職員間で共有する。	会議やカンファレンス時に職員それぞれの思いを聞き出し、事業所としての目標を掲げ、理念として作成する。作成した理念は、いつでも見ることできる場所に掲示する。	6ヶ月
2	2	地域の小学校の行事や地域包括支援センター主催の行事に参加しているが、直接の関わりは薄く、地域に根ざしたグループホームとしての活動ができていない。	地域ボランティアの活用と地域の小学校や保育園などと直接関わり合えるような開かれた事業所を目指す。	小学校や保育園に挨拶にいき、お互いに関わり合える行事等を検討し合い交流を深める。また、どなたでも気軽に訪問できる雰囲気をつくる。	12ヶ月
3	35	避難訓練を年に2回行っているが、昼間を想定した訓練であるため、職員の少ない夜間を想定した訓練を行う。	夜間を想定した避難訓練を行う。また、地域の方も参加して頂き、災害時の協力体制の構築を行う。	夜間想定した避難訓練を企画し、近隣の方へ案内を送り、避難訓練に参加して頂く。また、地域の防災訓練にも参加する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。